

市野新田ダムだより 16号



株式会社フジタ 東京支店
市野新田ダム作業所
電話 0257-29-2861

平成27年 1月 新年号



新年のご挨拶

(株)フジタ
市野新田ダム作業所
所長 坂元 孝一



鶴川地区の皆様、新年明けましておめでとうございます。

私自身は、こちらへ来て2回目、市野新田ダム自体は3回目の冬を迎えています。

この時期の決まりのネタですが、現場事務所の裏で計っている積雪量は、おととしの1月19日は273cm、昨年は157cm、今年も220cmとなっております、おととしと昨年の中間くらいという状況です。これ以上降らないでいてくれると現場とすればありがたいと考えています。

お正月は、自宅のある鹿児島で過ごしましたが、1月1日には少しだけ雪が降り、寒い正月でした。そのほかの日は、最近のニュース等でご存知の方もいると思いますが、桜島の元気が良く、毎日のように噴火していました。現場もこれに負けないう元気にいきたいと思えます。

市野新田ダムの状況について簡単にお話します。

去年は、一昨年同様にダムを載せる地盤を出すため石橋川より少し低い位置まで掘削を行いました。また、石橋川の流を切り替えるための仮排水路トンネルを造りました。さらに、ダム本体に使う予定の材料が良いものかどうかを確認する試験を行いました。冬の間は、仮排水路トンネルの中において、ダム本体と同じラインでセメントミルク(水とセメントを混ぜたもの)を注入する作業を行っています。これが終わると、ゴールデンウィーク頃に、石橋川を切り替えるようになります。切替え後は、ダムが載る部分の掘削を全て終わらせて、その部分にもセメントミルクを注入し地盤を固めたり上流から水が抜けないう地中に壁を造る作業を行います。そのほか、ダムから越流した水を流すコンクリートの水路を造る工事や、昨年同様ダムを盛り立てるための材料を鶴川ダムから運搬します。今年も5月ごろから多くのダンプトラックが鶴川地区内を走る予定です。皆様方にはご迷惑をお掛けしますが、安全運行に努めますのでご協力をお願いします。

最後に、本年もこの鶴川地区が良い気候と豊かな実りに恵まれ、皆様が健康に過ごせますことを祈念し、簡単ですが新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も、どうぞ宜しくお願い致します。

〇〇 仮排水路基礎処理工を施工中 〇〇

現場は昼夜2交替制で作業を進めています。
写真はセメントミルクを注入する孔を掘る機械「ボーリングマシン」。



〇〇 鶴川地区新年会 〇〇

鶴川コミセンで行われた新年会に、今年も坂元所長と鈴木副所長が出席させていただきました。



〇〇 上野集落「さいの神」 〇〇

古くから各集落で正月に行われる伝統行事として親しまれている「さいの神」。今年も現場事務所がある上野集落の「さいの神」に参加させていただき、工事の安全と1日も早い雪解けを祈願しました。最後に残り火でお餅やスルメを焼いておいしくいただきました。



〇〇 雪下ろし 〇〇

毎年恒例、現場事務所の雪下ろし。”3度目の冬”となる中尾職員は、年々雪下ろしが上達しています。今年はこの作業が1回でも少なくなることを願っています。



新年明けましておめでとうございます。

大雪のお正月。私は出かけるのも大変なのでコタツでお餅を食べて過ごしておりましたが、皆様はどのようにお過ごしだったでしょうか。1月は睦月といひます。これは「新年を親しい人達と親しみ睦み合う」という意味だそうです。確かに親族やご近所が集っておせち料理を食べて賑やかに宴をしますね。その後七日正月では七種(ななくさ)粥を食べ、11日には鏡開きをして餅を食べます。鏡餅は神が宿るといわれておりますので刃物を使わず木槌などで叩いて割って(開いて)頂くものだそうです。硬くて刃物では無理ですけれど……。

そんな感じで1月半ばを過ぎて(食べてばかりで)なかなか正月気分が抜けない私は、実は1月の申し子のような名前です。まだまだ寒い日が続きます。春まであと少し、体調を崩さないように皆様お気をつけください。今年も職員一同、宜しくお願い致します。



1月19日現在
積雪は
220cm
です(事務所裏)